真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度

事務事業評価マネージメントシート

作成日　令和8年4月14日

事務事業名	結婚支援事業	担当課・係	総合政策部　出会い結婚サポートセンター　市民協働推進室
政策名　No	2　「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	関連するSDGs･DX	 DX
施策名　No	1　子育て支援の充実		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	結婚支援件数	件	5					
	うち、ﾌﾟﾛﾌｨｰﾙｶｰﾄﾞ交換のみ件数	件	70					
	うち、お見合い件数	件	32					

事業内容

○結婚相談員による結婚相談事業や婚活イベント等開催。
・結婚相談会　19回　・結婚相談員、婚活サポーター合同研修　1回
・結婚相談員研修1回
・とちぎ未来クラブ結婚サポーター研修会　1回
・市主催婚活イベント（セミナー・交流会）　1回　・県とのエリア別イベント1回
・結婚相談員主催イベント「meet up 真岡」2回（うち１回は中止）
・女性限定魅力アップ講座　・登録男性向けスキルアップ講座

○若者の新婚世帯への経済的支援を実施。
・補助金（結婚新生活支援補助金 、とちぎ結婚支援センター登録補助金、婚活イベント開催補助金）

前年度の課題（Check）

結婚に対する価値観の多様化により、20代で結婚を希望し登録する方及び女性の登録が少ない。
結婚を希望する方が相手に求める年齢層と、その年齢層の方が求める年齢にずれがあり、お見合いまで至らないケースがある。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業
・結婚相談会　19回（親御さん対象の相談会も実施）
　プレ交際期間を設け、期間中は最大3名までお見合いをすることを可能とし、出会いの機会を増やす支援をしていく。
・結婚相談員及び婚活サポーター合同研修　1回　・結婚相談員研修会　1回
・とちぎ未来クラブ結婚サポーター研修会
・市主催婚活イベント「恋活パーティ」1回　・県との共催企業間交流イベント 1回
・結婚相談員主催イベント登録者向け出会い事業「meet up 真岡」1回。真岡市在住在勤者対象「大人みらいCAFE」2回開催。
・女性限定講座　1回　・登録男性向け講座　1回
・補助金（結婚新生活支援補助金 、とちぎ結婚支援センター登録補助金）
・婚活イベント開催補助金について、婚活イベントに限らず出会いの機会を創出する小規模な事業についても対象となるよう交付要件を緩和。

【2】結果と課題（Check）
・結婚相談事業による成婚が5組成立した。
・「プレ交際期間を設け、期間中は最大3名までお見合いをすることを可能」とした結果、情報交換が活発になりプロフィールカードの交換数も増加した。
・結婚に対する価値観の多様化により、20代で結婚を希望し登録する方及び女性の登録が少ない。
・自身が求める年齢等の条件に見合う相手が見つからず、お見合いまで至らないケースがある。
・登録者数が男性と比較して女性が少ない。（男性101名、女性36名）

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
・気軽に相談・登録していただけるよう、結婚相談事業を広く周知し、結婚を希望する人やその家族の支援につながるよう広報活動を継続していく。
・若い世代にある結婚までの金銭的負担感を補助することでサポートし、結婚を後押しできるよう、結婚新生活支援補助金を積極的に周知していく。
・結婚相談事業だけでなく、多様な価値観に対応するため、マッチングアプリでの出会いの提供支援として、とちぎ結婚支援センター登録料補助事業を積極的に周知していく。
・令和8年度から婚活イベント開催補助金について、婚活イベントに限らず出会いの機会を創出する小規模な事業についても対象となるよう交付要件を緩和したため、周知を徹底する。

（2）長期的な計画で検討すること
・事業開始当初から登録者数が男性と比較して女性が少ない状態が続いている。女性登録者を増加増やす継続的な対応を検討する。未婚の女性に対し結婚支援をする事業を計画し登録者につなげる必要がある。